

平成30年度 事業まとめ



社会福祉法人 おもと会
おもと園 (就労継続支援B型・生活介護)
オレンジホーム(共同生活援助)

目次

1 全体総括(次年度に向けて).....	3
2 各事業について	
1)生活介護.....	4
2)就労継続型B.....	5
3)共同生活援助.....	7
3 年間行事について.....	8

1 全体総括(次年度に向けて)

平成30年度は、更なる高みを目指すべき支援力の向上を目指して取り組んできた。

今年度も外部委員による施設オンブズマンからの評価を受ける。今回は、利用者から直接意見を聞いていただいたりして、利用者さんが職員に対してどのように感じているか等を話し合ってもらった。

オンブズマンからの意見は、利用者さんと職員との関係性もよく、雰囲気も良かったと評価していただきました。

オンブズマンの評価は、支援現場において「利用者主体の支援」が定着してきていることを示されてきたと感じる。結果としてこの4年間を通して、利用者の方々も落ち着いた生活を送ることが出来てきた。

利用者さんの利用状況については、ほぼ定員通りの利用率になっている

これからも地域のニーズに応えられるように、関係機関との連携をはかりながら柔軟な対応をしていきたい。

就労継続B型では、ジュースの製造、内職、新たに施設外授産（振興局清掃）圏域内関係機関への訪問販売等を行い、利用者工賃の向上に努めてきたが、昨年度同様、支援力向上を第一に挙げて研修会等を優先してきた中で、収益増に繋げていくことは厳しい状況でもあった。

生活介護については、軽作業と創作活動、レクリエーションを中心に行ってきており、特に創作活動では利用者さん一人ひとりの作品を大事にして発表の機会を作ってきた。

GHについては、「利用者主体の支援」を実践していくために、支援スタッフの研修や定期的な会議等を実施することで、互いの連携を重視した支援体制をとれるように取り組んできた。

そして、利用者さん一人ひとりの意思を大事にした支援に心がけると共に、職員は常に自己決定支援のあり方についても考えながら支援にあたってくれた。

昨年度よりスーパーバイザーに月一回訪問してもらい、支援現場で直接指導してもらうことで職員の知識・支援力の向上を目指してきた。

対応困難な利用者さんに対して、観察・記録の在り方についてもしっかりとした目的意識を持って取り組めるようになってきた。

2 各事業について

生活介護 定員16名（利用者数14名） H. 31. 3月現在

*内職作業

働くことに対する意欲がある利用者様に提供しました。

本人支給金の支払いを行いました。

手、指先を動かすトレーニングの一環として取り組んでいます。

・靴下 内職作業…中村靴下

①糸を切る作業 ②ひっくり返す作業 ③そろえる作業 ④24枚を数え、ひも
でくる作業 ⑤ヨゴレ 穴あき 糸残り等 チェック作業

・米袋作業(JA 和歌山)については、H30 9月に作業自体が打ち切りとなりました。
工賃もよく、慣れてきた頃だったので 残念でした。

靴下の内職作業については、一つひとつの工程において、「これは 自分の仕事だ」と思って取り組んでいます。毎日の活動の一つとして、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

*創作活動

和歌山県福祉事業団の主催するアールブリュット和歌山展に参加しました。

第4回を迎え『魂のあうところ』をテーマとしたポスターには、おもと園の山田さんの作品が掲載され、素敵な仕上がりとなっていました。

田辺市文化交流センター“たなべる”や“ぎやらりーなかがわ”等の立派な会場で、多くの方々に自分たちの作品を観てもらえる機会をいただきました。

太地町立石垣記念館での巡回展での後 山田さんの作品を購入したいという方が現れました。コツコツと作品づくりに取り組んだ作品を認めてもらい、お金を出して購入していただきました。このことは、これからの創作活動の大きな励みになります。今後も 新たな絵画作成に取り組んでいきたいと思ひます。

ガーデンパーク・花ご坊・田辺 寿苑で、陶芸作品を展示 販売しました。利用者様の作品をたくさん発表、販売できる機会をつくってきたいです。

*農耕 うどん製麺 自動販売機

農耕活動では、季節ごとにさつまいも、ジャガイモ掘りイベントを開催しています。

この活動は、たちばな支援学校との交流の場になっています。

土とふれあい、季節を感じる。おもと園を知ってもらえる機会のひとつ、地域の民生委員の方との地域交流の場としても積極的に取り組んできました。

毎回、みなさんに喜んでもらっています。

うどん製麺は、おもと園の給食に、製麺事業からうどん生麺を提供しています。コシのあるおいしいうどんだと好評です。今年度は、うどん生麺の外注として、有田川町役場、ひまわり作業所、通所事業所しゅり等からも注文をいただきました。おもと園に設置されている自動販売機について 商品管理を行いました。

新しい自動販売機に買い替え、好調です。利用者様の希望を取り入れながら、自動販売機に入れる商品の買い出しに行きました。人気は缶コーヒー、冬場限定の甘酒も人気でした。売り切れにならないように 商品の補充などを、利用者様と一緒に行いました。

*レクリエーション

以前、おもと園を利用していた方に会いに、御坊のなかがわへ行きました。

おいしいお蕎麦屋さんの店員として張り切っている姿を見て、自分たちも頑張ろうと思いました。障害者スポーツ大会、フライングディスクや、卓球バレーにも取り組み、優秀な成績を残す事が出来ました。散歩やちょっとしたドライブなどの外出は、気分転換になります。買い物や カラオケ・外食レクは大好評です。

今後も、楽しみの時間と活動の時間のメリハリをつけ、退屈な毎日にならないようにしたいです。また このようなたのしい活動のようすをおもと便りなどで、ご父兄の方々にもお知らせしていきます。

★就労継続支援B型

定員24名 (利用者数23名)H31.3.31現在

*就労継続支援B型事業所では、利用者工賃のアップに向けた取り組みにおいて、施設外就労を実施し、また障害の特性を理解するためスーパーバイザーに毎月1回訪問していただき、職員にアドバイスをしていただく中で、作業工程の見直しや支援方法の変更、環境の改善等により適切な支援が出来たことは大きな収穫であった。

*利用状況 H30年10月黒岩さん退所されました。

★ジュース関係について

●ジュース販売

各イベント(明恵ふるさと館・アレック・かかし祭等)にみかんジュースの販売を実施、みかんやから揚げ等も合わせて販売し売上金の向上を図りました。

有田コープファームの紹介で生活協同組合コープ滋賀、京都生活協同組合の商品交流会に長年参加していますが売上には結びつかず今年は参加しませんでした。

近隣の温泉・道の駅・ホテル・県立高校等での委託販売を昨年引き続き、プレミアム和歌山を取得し付加価値をつけ安定した販売ができるようにしました。

事業所販売では、昨年引き続き小倉園・あいショップ・つくし会・ひびき会・美熊野福祉会の店舗に販売しました。

搾汁のみ委託販売は共撰・事業所等特注を行いました。

和歌山県から優賞表彰のオンリーワン特注がありました。

ふるさと納税謝礼品は、前年度を上回る注文がきました。

バレンタインデーには他の業者とタイアップし売り上げの向上を図りました。

他の作業所の生産物を購入し加工して、商品を販売し工賃の向上に繋がっています。

●搾汁について

今年は柑橘の収穫量が少なくなお且つ買い付けの高騰により、原料のみかんの入荷量が約15tであった。また、搾汁時に出る廃棄処理について、畑にリサイクルコンポを増加し、処理をしています。

★内職関係

オカザキの雑巾縫製作業については年々縫製作業が少なくなっています。

ワコーの下請けにつきましても他の事業所へ委託されたことによる製品の減少がありますが、利用者の要望があり継続して作業を請け負っています。

★年間行事

レクリエーション2回・花見・忘年会を実施しました。

★業者別作業収入

オカザキ(縫製)	86,172円
ワコー	2,001,542円
段ボールリサイクル	9,010円
ミカンジュース・ゼリー等	3,486,563円
振興局清掃等受託	1,896,000円
30年度年間売上報告	7,479,287円
31年度年間売上目標	7,500,000円

★30年度平均工賃	13,945円
31年度目標平均工賃	15,000円

共同生活援助

★意思決定・表明支援ができるように援助や支援をしていきます。

★グループホームの利用されている状況(平成31年3月現在)

- 第1オレンジホーム(定員6名)6名
- 第2オレンジホーム(定員6名)6名
- 第3オレンジホーム(定員5名)3名
- 第4オレンジホーム(定員3名)2名
- 第5オレンジホーム(定員7名)6名

★今年度の環境整備

- 第3ホーム玄関前バリアフリー化に修繕
- 物干場の整備

★利用者の状況(平成31年3月現在)

ひまわりの会等より

- 平成30年 7月 ふれあいキャンプ バーベキュー
- 平成30年10月 GH交流会 バーベキュー&温泉INすさみ
- 平成30年12月 有田圏域よりクリスマス会に参加
- 平成31年 3月 ひまわりの会総会 双苑

・平成30年度 退所された方2名

平成30年度 年間行事について

行事名	日時	参加者
花見(なぎの里球場)	平成30年 4月 2日	全員参加
B型 レク(スワン江戸村)	平成30年 4月 28日	利用者 8名 職員 3名
電車レク(貴志川線)	平成30年 4月 16日	利用者 7名 職員 3名
買い物レク(ユニクロ)	平成30年 5月 21日	利用者 6名 職員 2名
第18回障害者スポーツ大会	平成30年 5月 20日	利用者 12名 職員 4名
じゃがいも収穫祭	平成30年 6月 16日	たちばな支援学校中高生
あじさい祭り	平成30年 6月 7・8日	利用者 14名 職員 2名
ふれあいキャンプ	平成30年 7月 8日	利用者 14名 職員 4名
カラオケレク(TUBE)	平成30年 7月 26日	利用者 10名 職員 2名
喫茶レク	平成30年 8月 21日	利用者 14名 職員 2名
卓球バレー大会	平成30年 9月 9日	利用者 8名 職員 3名
ドライブレク(御坊)	平成30年 9月 21日	利用者 7名 職員 2名
フライングディスク大会	平成30年 9月 30日	利用者 8名 職員 4名
さつまいも収穫祭	平成30年 10月 6日	たちばな支援学校小中高生
マリーナシティレク	平成30年 10月 11日	利用者 8名 職員 2名
B型 よしもと新喜劇レク	平成30年 10月 13日	利用者 13名 職員 5名
B型 ラウンドワンレク	平成30年 10月 19日	利用者 9名 職員 4名
買い物レク(ユニクロ)	平成30年 11月 8日	利用者 7名 職員 3名
あかつき杯卓球バレー大会	平成30年 11月 12日	利用者 7名 職員 2名
忘年会(ゴンドワナ)	平成30年 12月 20日	全員参加
初詣レク	平成31年 1月 11日	利用者 6名 職員 2名
カラオケレク(TUBE)	平成31年 2月 21日	利用者 7名 職員 2名
買い物レク(和歌山市)	平成31年 2月 22日	利用者 6名 職員 2名
ひわまりの会 双苑食事レク	平成31年 3月 2日	利用者 22名 職員 3名
フライングディスク大会	平成31年 3月 10日	利用者 7名 職員 3名
温泉レク	平成31年 3月 26日	利用者 6名 職員 2名

●まとめ

2018年度も生活介護では月に一度のペースでレクリエーションを実施しました。行き慣れて安心できる場所へのレクが多く、大きなトラブルなくレクを楽しむことが出来たと思います。

B型では全体行事とは別に旅行など3回のレクリエーションを実施しました。グループホームのメンバーで年末やGWに温泉地に連泊することも皆楽しみにしています。恒例のスポーツ大会にも若いメンバーを中心に奮って参加しました、卓球バレー大会(あかつき杯)では昨年に続き二度目の優勝をすることが出来ました。来年度も優勝できるよう練習を頑張っていきたいです。